

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 108-8501
 住 所 東京都港区港南2丁目13-40
 氏 名 東洋水産株式会社 印
 代表取締役社長 小畑 一雄
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	東洋水産株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区東扇島22-1		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	H	運輸業, 郵便業
	中分類	47	倉庫業
主たる事業 の内容	冷凍倉庫業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	6,867	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	東洋水産株式会社 東京冷蔵部
		所在地	東京都大田区東海4丁目1-12
		電話番号	03-5755-1257
		FAX番号	03-5755-1258
		メールアドレス	0
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成22年度～平成24年度 (報告年度 平成23年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号及び3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号及び3号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号及び3号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号及び3号のとおり
備考	当社の環境への取り組みについては、HPにて公表しております。 http://www.maruchan.co.jp/csr/reports/index.html

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 11,943 t-CO ₂ (調) 9,514	(実) 12,040 t-CO ₂ (調) 9,576	(実) 11,584 t-CO ₂ (調) 9,215	(実) t-CO ₂ (調)	(実) 11,503 t-CO ₂ (調)
削減率		(実) -0.8 % (調) -0.7	(実) 3.0 % (調) 3.1	(実) % (調)	(実) 3.7 % (調)

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	延床面積		単位		t-CO ₂ /千㎡	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値	
排出量原単位等の値	142.0	143.2	137.7		136.7	
削減率		-0.8 %	3.0 %	%	3.7 %	

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	震災の影響により、現場復旧作業の為、24 t hの作業体制をとり、温室効果ガスの排出量が増加し、原単位の値が増加した。
第2年度	電力使用制限令の指定値に対応出来るよう、デマンド設定の変更を行い、電力カットを行い大幅に削減した。
第3年度	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

<p>〈全社目標〉 排出量原単位の値を年平均1%以上削減することを前提に目標を設定したが、電力使用制限令に於いて前年度最大値5%カットした為、前年より19.2 t-CO₂/千㎡削減できた。</p>

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> ○環境マネジメントシステムの導入 ○政府の推奨する冷暖房温度設定 ○設備の稼働又は停止に合わせた進相コンデンサの適正運転 ○人体感知装置の設置 ○定期的な保守・点検の実施
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ○環境マネジメントシステムの導入 ○政府の推奨する冷暖房温度設定 ○設備の稼働又は停止に合わせた進相コンデンサの適正運転 管理標準に則り運用管理を実施。 ○定期的な保守・点検の実施 冷凍機のオーバーホール、オイル交換を順次実施。 ○適正な照度レベルの実施、減光・消灯等を実施。
	第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ○環境マネジメントシステムの認証取得 ○省エネ対策として、照明をLED照明に交換
	第3年度	
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	無し
第1年度	無し
第2年度	無し
第3年度	

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ゴミの分別によるリサイクル率の向上 2. 入出庫待機車両へ、アイドリングストップのお願い 3. 輸送における温室効果ガス排出量削減の為に、運送の効率化（貨物の集約）提案 4. 冷蔵庫屋上緑化の検討 5. 外気流入を防止するトラックバースの仕組みの検討 6. 営業車をエコカーに入れ替え、エコドライブの実施 7. 環境教育の実施
第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミの分別により再生可能なゴミの有償引き取りを実施 ・ トラックバースの改良を実施し外気流入を防止 ・ 営業車をエコカーに入れ替え（2台）、エコドライブの実施
第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミの分別によるリサイクル率の向上 ・ トラックバースの改良を実施し外気流入を防止 ・ 防熱扉の改修
第3年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	10,400	t-CO ₂
(調)	10,372	

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500k1以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
東洋水産(株)東扇島第二冷蔵庫	川崎市川崎区東扇島22-1	4721	冷蔵倉庫業	5,702 t-CO ₂
東洋水産(株)東扇島第三冷蔵庫	川崎市川崎区東扇島30-3	4721	冷蔵倉庫業	2,893 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1以上1,500k1未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
東洋水産(株)東扇島冷蔵庫	川崎市川崎区東扇島25-3	4721	冷蔵倉庫業	1,805 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500k1 未満	
300～400k1 未満	
200～300k1 未満	
100～200k1 未満	
100k1 未満	

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--